

日本のトイレ事情 (TOTO) 研修 大好評! (12/14, 1/25 東京・1/14 大阪)



「海外のお客様が日本到着後、必ず訪れる場所はどこでしょうか？」それは間違いなくトイレです。私たちは普段、当たり前のように快適で清潔なトイレを使っていますが、かつて日本の公衆トイレは「5K (臭い・汚い・暗い・怖い・壊れている)」と言われていた時代がありました。では、一体いつから日本のトイレは進化したのでしょうか。そのターニングポイントは何だったのでしょうか。このような疑問に答えてくれたのが、「日本のトイレ事情 (TOTO) 研修」でした。

TOTO (株) の島田崇康氏から、「世界のトイレと日本のトイレの違い」に始まり、「国民性とトイレ文化」など、専門的、体系的なお話をうかがうことができました。改めてウォシュレットの登場が、日本のトイレ文化を劇的に変えたことを実感しました。

館内見学ツアーでは、最新技術を駆使した多機能・多目的トイレに参加者一同感心するばかり。初代ウォシュレットの前では、開発者のご苦労や情熱が伝わってきて、胸が熱くなりました。

最後は GICSS ならではのガイドトークデモと演習です。福井道孝 (ミッキー) 先生のガイドトークは、聞いているうちにハイテクトイレの使い方からその歴史まで楽しく学べる、まさに名人芸!

コンペ形式の演習は、研修で学んだことを早速取り入れつつ、笑い溢れる充実したものとなりました。

日本のトイレは、日本の誇るおもてなし。そんな思いを強くした、ユニークで素晴らしい研修でした。

(講師: 島田崇康 (TOTO)、福井道孝/スタッフ: 青井千里、長野雅子、五歩一文字)

TOTO 社による世界のトイレ事情やウォシュレットの変遷についての講義、エコフレンドリーな最新のトイレの見学、福井先生のデモと参加者のプレゼン、ハイテクトイレに驚き、工夫を凝らしたプレゼンの数々にガイディングのヒントをつかまれた参加者の方も多かったのではないのでしょうか。



研修一口メモ

- ①現在、日本の温水洗浄便座の世帯普及率は 78%。パソコン、デジカメ並み。
- ②ウォシュレットの温水がお尻にあたる角度は 43 度。この数字は TOTO 社員、300 名以上が実験に参加して導き出された。初代ウォシュレットから 35 年たった今でも変わっていない。
- ③NHK テレビのクールジャパンが在日外国人に行った「日本で最もクールなもの」の調査で、自動洗浄トイレが No1 になった。
- ④最新式トイレの 1 回当たりの水の使用量 (3.6L) は旧式 (13L) の 1/4 ですむ。
- ・ウォシュレット 2015 年までの販売台数は 4000 万台超え
- ⑤東京スカイツリー展望台のトイレは、縦管排水落下距離が 300m もあり、何度も排水テストを繰り返して実現した。スカイツリー訪問の際は、ぜひ、雲の上のトイレへ!

(レポーター: 平野都子、西野順子)

新人研修 (2/18~21 大阪、2/25~28 東京)



研修を通じて感じた大切なことは 3 つです!

まずはガイドとしての知識と技術。主要観光地について、先輩ガイドの先生方がすばらしい手本を見せて下さいました。受験勉強中、丸暗記していた歴史の内容が、頭の中で立体的に浮かび上がる感覚は感動的でした。深い知識とそれを相手の的確に伝える技術が必要だと感じました。

2 つ目は、おもてなしの心。お客様の滞在をかけがえのない思い出にするには、おもてなしの心が大切だと感じました。また、お客様のみならず、旅行会社、企業等への配慮が信頼関係を築く上で大切であることも学びました。



最後に、ガイドという仕事の素晴らしさです。先生方が、実際にガイドの現場で感じたこの仕事の素晴らしさ、楽しさを経験談を元に教えて下さいました。ガイドとはおもてなしの心を持って、的確に日本文化・歴史を伝える存在で、先輩方はまさにその役割を果たしておられると思いました。



[東京 (スタッフ: 鈴木桂子、青井千里、加藤紀子、吉橋卓、芦野渡ほか)] [大阪 (スタッフ: 吉田英夫、山田展之、李瑞江)] (レポーター: 鴨脚里子)

【通訳案内士の業務独占が規制改革会議で検討される!】

1 月 28 日に内閣府の規制改革会議にて、通訳案内士の業務独占が検討議題として取り上げられ、2 月 10 日の同会議に JGA、JFG、JICCE、CGO そして GICSS のガイド 5 組織が要請を受け出席、ヒアリングを受けました。その後、観光庁の通訳案内士制度見直し検討会が 2 月と 3 月の 2 回に渡って開催され、対応が協議され、今後の成り行きが注目されています。

民宿や白タクなど、急増する外国人来日客を受け入れるため様々な規制が緩和されてゆく中ですが、通訳案内士の業務独占が外れれば、私達のめざす水準の高い文化紹介業務が誰にでも幅広く開放されることによって、品質保証のないレベルダウン状態になるのが危惧されます。曖昧な説明で誤解を生み、国のイメージを損なうばかりか、ぼったくり商法の横行などがおこらないようにと、問題点は多々浮上しました。名称独占は残りそうですが、今後さらに通訳案内士は品質を売りにすべく精進したいものです。

研修名・日程・会場等	
インバウンド実務・旅程管理研修会 (東京) 4 月 3 日(日) 10:00～16:50 場所: 代々木青少年センター 4 月 10 日(日) 10:00～16:50 とう 場所: 東京ウイメンズプラザ 会費: 9,720 円(会員)、14,580 円(一般)	GICSS 長年の現場経験を踏まえ、訪日外国人業務に必要な旅程管理のスキルを独自に編成したプログラムです。ガイド現場では、前日のバス配車確認や団体券の取扱い方、当日のレストランへの到着時間の連絡やメニュー確認、突然の食事制限の連絡の仕方? 相手に迷惑でない時間帯は? など、国家試験では含まれない“旅程管理”スキルが求められます。これができるかどうかでガイドの評価が決まると言っても過言ではありません。見よう見まねでなんとか乗り切れるかと不安に思っている新人ガイドの皆さん、本研修で学びましょう。本研修は旅程管理主任者資格取得の基礎研修に充当されます。
バス実習 日光 研修 (東京) 4 月 21 日(木) 7:45～18:30 会費: 18,144 円(会員)、27,540 円(一般) 旅程管理主任者取得研修コース: 会費: 20,340 円	旅程管理主任者資格の取得を目指す方々は「実地研修」に充当できる(※)一石二鳥の密度の濃い研修機会です。ベテラン講師のバス内でのモデルガイドングを聞けば、長時間のバス移動中に何をどう話したらよいのかがわかります。帰路ではバス内でのゲームの扱い方なども覚えましょう。大きなヒントが得られる研修となる事請け合いです。
バス実習 鎌倉・箱根研修 (東京) 5 月 12 日(木) 7:50～17:30 (小田原駅解散) 会費: 17,820 円(会員)、27,000 円(一般) 旅程管理主任者取得研修コース: 会費: 19,980 円	※旅程管理主任者資格取得用の現場実習には、日光と鎌倉箱根研修のうちいずれか1つを受講すれば大丈夫です。 講師: GICSS 公認ベテラン講師、旅程管理主任者資格指導講師亀井ゆかり
伏見稲荷大社「現場 C.C. 下見実習」(京都) 4 月 24 日(日) 10:00～13:00 ナビゲーター: 野村秀樹 集合場所: JR 稲荷駅前 会費: 3,240 円(会員)、4,860 円(一般)	世界遺産でもないのに、トリップアドバイザーが発表した「外国人に人気の日本の観光スポット」において京都の伏見稲荷大社が、一昨年に引き続き、第1位に選ばれています。全国の神社総数が約8万社あるうち、およそ3万社が稲荷であるといえます。 初詣では三が日で250万人以上の人々が参拝に訪れる人気はなぜ? 民間信仰のメッカ?、クチコミ? SNS? 映画『SAYURI』の影響? 朱色の鳥居のトンネルの神秘さ? アクセスの良さ? 気のコツを探ってみましょう。
座学 C.C.: 温泉旅館 4/2, 4/9 キャンセル待ち (東京) 日本の学校・教育 5/15 (東京) その他 HPにて発表 会費: 2,160 円など (各約2時間)	チャレンジャー・サークル C. C. とは、一定のテーマで10名前後の参加者がガイドトークプレゼンをしあい、意見や情報交換をする場です。新人研修のスマールクラスの延長とお考え下さい。1人だけでやるよりも、練習や学びは仲間と一緒にやると、数倍の情報量やエネルギーが良い刺激となって効果的です。詳細はHPまたは事務局にお問合せ下さい。

●7/18 (月祝) 19 (火) 20 (水) は、東京にて連続の専門性研修ウィークです。徹底的に腕磨きできるチャンスです! (ご予定下さい、詳細は近日発表、乞うご期待! 会場: 代々木オリンピック記念青少年センター)

GICSS 会員がつなく、リレーエッセイ

リレー-ESSAY 36

会員の皆様、いらっしゃいませー!

関西在住会員 西川光幸

二〇一〇年二月に英語通訳案内士に合格し、二〇一二年三月から京都最大のタクシー会社であるヤサカタタクシーで運転手をしていました。勤務形態は曜日に関係なく二日働いて、一日休みの繰り返しです。だいたい朝八時頃から夜八時頃まで車を走らせております。

外国人をタクシーで京都案内し、そのほかタクシーで流しをすれば、フルで仕事ができるため、この仕事に就きました。しかし人生なかなか思い通りには行かないものです。月二十日の営業日の中で、十回以上は外国人の案内をしたいと思っていたのですが、今は月三回ぐらいです。自分で取ってくる仕事は会社から貰う仕事よりやや多いです。もっと自分で取ってくる仕事を増やしたいと思っています。

自分で取ってくる仕事とは、今のところ、有名ホテル等のコンシェルジュに直接メールを送って自分売り込み直接仕事を貰うことと、インターネットを使ってお客様から直接仕事を依頼されることです。

案内場所は清水寺、伏見稲荷大社、金閣寺、銀閣寺、竜安寺、二条城、三十三間堂等が多いです。お客様はアメリカ人、オーストラリア人、インド人、台湾人、フィリピン人、スウェーデン人等で世界中から来られます。

月一回、社内での英会話勉強会、古都研究会に参加し、月一回ペースの自主研修で、運転手仲間、通訳案内士の友人、留学生等を連れて僕の Odyssey で京都、奈良の観光地を回っています。

時々田舎(大阪府岸和田市の山奥)に帰り、タケノコ、シイタケの栽培をしています。特に四月上旬から五月上旬までのタケノコの収穫時期は超多忙で、まったく身体が二つ欲しいくらいです。

あと二年すると六十五歳で年金が満額貰えるので、タクシーを引退する予定です。そのあとは野菜栽培、森林の管理も追加となります。タケノコ栽培についても最低限の事しか出来ていないので、もっと土入れ(客土)、除草、施肥等に本腰を入れるつもりです。シイタケももっと増やしたいです(なんと欲張りな僕)

「一億総活躍社会」に、英語通訳案内士も七十歳くらいまで続けたいと思っています。(タクシー運転手も通訳案内士も年金生活者の仕事やろか?) (待ジョーが京都の二条寺町あたりで外国人の案内をしているのをよく見かけますが、本人曰く八十六歳だそうです。まったく元気なのはビックリポイント)僕はタクシー会社での勤務年数が足りないのですが、個人タクシーになる資格がないのですが、車で案内できるかどうか検討中です。



12/9 「新宿・歌舞伎町」 現場 C.C. (東京)

2分間ガイディング、私は以下を中心にチャレンジしました。

「江戸時代、江戸と甲州を結ぶ甲州街道は、日本橋を起点にして、次の宿場は高井戸でしたが、日本橋から約17キロもあり、一日で高井戸迄歩くのはかなり大変でした。そこで中間地点に新しく宿場を設けたのが今の新宿のはじまりです。」ナビゲーターの南さんから、「新宿は、甲州街道の第一の宿場でした。」と説明したほうが分かりやすい、というご指摘を受けました。説明するには「結論を先に、そして、簡潔に」という教訓でした。

「この駅の乗降客は1日 360 万人で世界一。ギネスブックに登録されています。」そして、「この駅のラッシュ・アワーは 1 日 5 回あると言われています。まず、朝7〜8時の一般通勤客が

(ナビゲーター:南 守 /スタッフ: 熱田裕里子/ レポーター:矢部一夫)



会社へ行く時間。次が朝10時頃の主婦がデパートに殺到する時。そして夕方6〜8時の通勤者の帰宅する時間。さらに、夜遅く11〜12時過ぎ迄の時間、酔っ払い客でごった返します。最後、朝5時頃に混むのはなぜか？ 前夜飲みすぎて終電に間に合わなかった泥酔客が始発電車で帰るからです。ガイディングが終わったら、「思わず話に引き込まれました！」と、嬉しいコメントを頂きました。

12/19 二条城 現場下見 C.C. (京都)



現場 C.C. として、まずは「現場を確認する」ことを第一に進められました。実際のガイディングでは、想定外の工事・動線・案内表示のリニューアル等に対応するには時どうするか？という観点から現場を見学しました。

唐門前の広場で各参加者の発表がありました。二条城を取り巻く歴史・文化財等、テーマは同じでも、一人一人切り口が違い、こんなにも話題が膨らむのかと驚くばかりでした。寒空の下にもかかわらず、皆さん声も通って聴き取りやすく、内容だけでなく、ガイディングスタイルにも勉強になる点が多くありました。皆の熱気に包まれ、しばし寒さも忘れるほどの時間でした。

(ナビゲーター:吉崎圭子/スタッフ: 山田展之/ /レポーター:菱田啓子)

1/10 神楽坂 現場下見 C.C. (東京)

「神楽の音がいつもどこからか聞こえてくるので」との由来もある「神楽坂」。一步入ると趣がひょいと変化する横丁の露地、風情な家屋や石畳が心を癒す。かつては寺社や武家屋敷が居並んでいたと、元の揚場町あたりの地下道にある江戸古地図が語り、明治・大正には周辺に漱石や泉鏡花などの文豪たちが住んだという。



軒を連ねる料亭に粋な芸者衆が行き交った花街の面影を残しつつ時代の変遷を刻む魅惑が満載です。数件残る料亭や多くの老舗店と、お洒落なカフェやイタリアンやフレンチ店が混在し、今なお人々を魅了し続けています。江戸城を防御した見付けや外濠、善国寺や赤城神社、芸者、伝統芸能、銭湯、旅館、文学、グルメ・・・今昔の多彩な話題の街でした。参加者は密度の濃いガイディングを次々に発表。質問が飛び交い、見番横丁では三味線と太鼓の音に安らぎ、ナビゲーターから貴重な情報やアドバイスを頂きました。

(ナビゲーター:一宮裕 /スタッフ: 長野雅子 /レポーター: 脇本剛史)

2/18 女子力 座学 C.C. (大阪)

吉崎先生が実際に遭遇されたゲストからの「日本の女子力」体験リクエストとそれに対する反応、そして関連統計の数字をご紹介します。それが活発な意見交換に発展し、有意義な CC となりました。ネイルサロンはアメリカ発で市場規模も大きいとのことですが、日本でネイルサロンを経験されたアメリカ人ゲストは、ネイリストの技術と細やかな気配りに驚嘆されたそうです。

(ナビゲーター: 吉崎圭子 / レポーター:五歩一文字)

12/19 日本橋 座学 C.C. (東京)

江戸経済や文化の中心地として1日千両のお金が動いた魚市場、商家が企業へと成長した巨大消費都市江戸の勢い、水陸交通網、「すべての道は日本橋へ通ず」の言葉の本質をどうしたら上手く伝えられるか、松岡先生の「情報の



羅列ではなく、人間の心が入るストーリー、どうしてそうなるのか、本質、雰囲気伝える工夫を、重要な情報を feature する」などのアドバイスや、違う視点、切り口による他の参加者のガイディングを拝聴し以前より「日本橋」の輪郭がはっきりとして来た。何より先生の体験談、多くの参加者の足で集めた情報はとても貴重だ。後日、再び訪れた黒江屋に展示してある万治元年(1658 年)の銘入りの擬宝珠を見た。物言わぬ少しへこんだ擬宝珠から橋を行き来した人々の喧騒が感じられ、案内書にてルネサンス 100 年計画に署名させて頂いた

(ナビゲーター:松岡明子/スタッフ: 長野雅子/レポーター: 山ノ内昌子)

1/8 プレミアム神戸研修 (神戸)



JR 元町駅を出発、神戸の老舗や中華街、神戸と居留地の歴史、それにまつわる様々な逸話等、田村講師から次々と繰り出されるお話にすっかり魅了されながら旧神戸居留地に到着。十五番館では所有会社の方から特別に地下室をご案内していただき、免震装置を目にしながらか再建時の人々の努力や熱い思いを伺い、次の日本真珠会館でも会館の方から神戸と真珠の関わりについて様々な角度からお話いただきました。居留地や雑居地の外国人の方々が日本の近代化や文化、スポーツの発展にも深く関わっていたことは驚きでした。

北野異人館街では風見鶏の館で非公開の地下室や、秘密の小部屋等も説明付きでご案内いただきました。

(講師:田村聡子/スタッフ: 吉田英夫/レポーター: 田畑明子)

●一口メモ:

風見鶏の屋敷(旧トーマス邸)は、当時の所有者の要望により神戸市が買い上げ。フランクフルト朝日新聞に載ったその記事が、たまたま元の所有者の娘、エルゼさんの目に留まる。1979 年、80 歳のエルゼさんが65 年ぶりに神戸を訪れる。異人館街の他の屋敷は想像して内部を復元したものが多いが、この屋敷はすべての部屋の写真をエルゼさんが寄贈されたので、忠実に当時のものを復元。

1/17 車 座学 C.C. (東京)

話題は日本の車事情(維持費、軽自動車、人気の塗色、カーシェアリングの増加など)から最新技術動向(ハイブリッドエンジン、IT 自動運転等)など広範囲におよび、お台場の「トヨタメガウェブ」など、お客様にぜひご紹介したいホットスポットも教えていただきました。

(ナビゲーター: 城戸弘明 /スタッフ: 池谷美穂 /レポーター: 後藤則久)



1/30 銀閣寺 座学 C.C. (大阪)

東山文化へと発展した書院造、4 畳半の同仁斎やお茶・禅・生け花・月の話に迫りました。

若くして将軍職を継いだ義政、日本の歴史の dark age という時代背景だからこそ生れた伝統文化の源流となった義政の美学など、目に見える以上の銀閣寺の奥深さを知り、さらにその魅力は増していきました。

(ナビゲーター: 玉田三絵 /スタッフ: 山田展之 / レポーター: 小越恵)



1/24

新年関東懇親会 (東京)

いやあ、楽しかった～！一年に1度、ここでお会いする人もいるし、30秒自己紹介あり、余興あり、Q&Aコーナーあり、ストレッチコーナーあり、クイズ王決定戦ありで、わいわいやっているうちに、なんか「今年も頑張ろう！」という気がモリモリです。

会場は六本木のジャズレストラン「サテンドール」！余興係の私は歌います！“My Favorite things”のメロディーに乗せた自作の「東京ソング」。いつもバスの中で歌っている歌だけれど、今日はプロのミュージシャンが伴奏してくださるっていうので、音合わせをした時から緊張していて、サワーを1杯飲んで歌った。「ドッカ〜ン」と何度もお誘いメールをくださった馬瀬さん、ソフトな司会ぶりが素敵だった。

、あちこちでお手伝いしてくださったスタッフの皆様、ありがとうございます。

(幹事:城戸弘明、馬瀬マリ八栄子/レポーター: 藪玲子)



2/14(東京) & 27(京都) 明治神宮・三十三間堂 無料ガイドデー



恒例のガイド・デー。東京と京都で良い刺激を受け、ガイドングデビューを果たした方達が生まれました。

“自分のことは忘れ、お客様の気持ちになりどうすれば喜んで頂けるかを考えることが大切！”との千田ナビゲーターの助言

をしっかりと胸に刻みました。声掛けは勇気が必要でしたが“OK”と言われた時はなんと嬉しかった事か！

イギリス人家族のお母様について“Your son is a really good looking man!”と言ってしまい“Very pleasant (funny) lady”と言われながら終始楽しいガイドングに。参加して本当に良かった。と思いました…など、関東、関西でスリルと楽しさを味わいながら充実したイベントとなったようです。京都では福井ミッキーナビゲーターがベテランの技で受講者をサポートする姿が印象的でした。

(ナビゲーター: 千田直子/福井道孝、スタッフ: 一宮裕、山田展之 / レポーター: 春木優子)

2/18 日本酒 座学 C.C. (大阪)

お酒を楽しみに日本にいらっしゃるお客様は多いようです。日本酒の製造方法は独特ですが、私自身はアルコール飲料をたしなまないため酒蔵で製造方法の違いを丁寧に説明されても、実はピンと来ていませんでした。そんな中での参加でしたが、日本酒の製造方法をテーマに語られた方が多く、じゅり耳を傾けることができ、ありがたかったです。

参加者の石田さんからは灘五郷の主な酒蔵のパンフレットをいただき、ミッキー先生からは、日本酒の製造方法の説明で落としてはいけない部分、チェックして覚えておくべき用語などのご教示をいただきました。至れり尽くせりの大変実りの多い会でした。

(ナビゲーター: 福井道孝 / レポーター: 彌永祥子)



1/31

新年関西懇親会 (大阪)



新大阪駅近くのKOKOCAFEにて新年関西懇親会が行われました。飛び入り参加も含め20名が集いました。もちろんランデル先生・松岡先生も参加されました。

旅行会社との契約形態について業界の新しい動きの報告を含めたランデル先生のご挨拶に始まり、個性溢れる自己紹介が続きました。その後も生演奏での歌、ウクレレ、ハーモニカなど、皆さんの素晴らしい技を堪能しました。有意義な時間が過ごせました。有難うございました。(幹事:吉田英夫、山田展之/レポーター: 鴨井真由美)



2/18 仏教 座学 C.C. (大阪)

禅宗信徒は仏教徒の4%弱ですが禅宗寺は全仏教寺の3分の1以上を占めます。よって禅寺に触れる機会も多く、禅に焦点をあてて話される参加者が多かったです。天竜寺の達磨や禅における掃除のあり方等、様々な切り口で語られました。

松岡先生のたとえ話(極楽浄土に行く為に川を渡る時、他の宗派では仏僧の導きがあるが、禅では自分で考えないといけないとの旨)は分かりやすく、「悟りを開くために座禅を組む」と説明される言葉よりもよりビジュアル的に、思想の深層部分に入ってくる様に思いました

(ナビゲーター: 松岡明子 / レポーター: 李瑞江)



北海道通訳案内士向け研修会@札幌 講演報告

1月18日 札幌での北海道観光振興機構主催の現役通訳案内士向け研修会で松岡副理事長と吉崎圭子さんが講師を務めました。

通訳ガイドの現状についてと、ガイドングのコツ(①対応力ーお客様の国籍や訪日目的によって変幻自在に②おもてなし表現で上質なガイド③統計や数字を使って客観的に)、関西の観光スポットの現状が講義されました。ワークショップや懇親会で北海道の通訳案内士、地域限定通訳ガイドの方々との交流の機会もありました。

道庁の手厚い通訳案内士への支援策に驚きと羨望の思いを持ちましたが、広い北海道では現場研修や下見も時間的、金銭的な苦勞もあることを学ぶ貴重な機会でした。

通訳案内士資格セミナー@大阪 講演報告

3月11日、JNTOと大阪の中之島図書館共催イベントで、受講者78名を前に福井道孝理事がガイドの話を熱弁し、反響を得ました。様々な資格を紹介するプログラムの一貫で、通訳案内士資格は人気も高く、英語以外の言語が多かったのが印象的でした。

☆次回のリレーエッセイもお楽しみに！～会員のご活躍ぶりをご紹介下さい。珍事件、感動秘話、ためになる話・・・なんでも結構です！

＝編集後記＝ ●いよいよ桜、ガイド繁盛期がやってきました。皆さん体調に気をつけて!!! (4月号はイベントが多く、投稿頂いた原稿はカットさせていただいた部分が多く・・・ご勘弁を)(ひ) ●このところ毎回同じことを言っている自分がいるのですが、世の中はガラリと動きつつあります。ガタガタ、大揺れ震度6?すべり落ちずについていきたいです。いつになったら麻雀とかテニスとか楽しむ時間がある女になれるのかなあ! (よ) ●東京も京都もどこに行っても聞こえてくる会話は聞きなれない外国語ばかり、日本の風情を身につけにくい春です。ガイドの世界も大きな変革を迎えそうです。ふらつきそうな足許をしっかりと見据えて、行く道を間違えないようにと願う日々です。(ま)

◆GICSS 研究会 賛助会員 & 協力会社

株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル
CEL 英語ソリューションズ
トップツアー株式会社
株式会社 千代田テクノ
協同組合 京都ハンディクラフトセンター
近畿日本ツーリスト株式会社
㈱日本旅行



NPO 法人 GICSS 研究会 〒154-0011 東京都世田谷区上馬 5-20-15-1001 TEL:03-3706-9861[代表]
E-mail: adm@gicss.org URL: http://www.gicss.org